

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立津山高等学校		
実践者等	島村奈生子	実践日	令和3年6月21日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	芸術(書道I)		
対象生徒(学年等)	普通科1年次		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	漢字の書(楷書)		
使用したアプリ等	Classroom		
実践の概要(ねらい等)	Classroomに作品を保存し、自他の作品を比較し鑑賞を行う。		

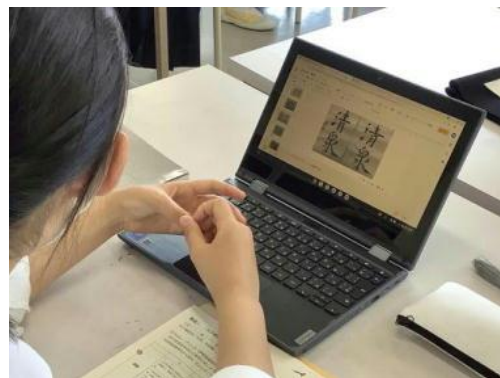
実践の内容

北魏時代の特徴的な楷書に挑戦する学習で、授業始めには前時に各自が唐時代の楷書古典を臨書した「最初の作品」と「清書」の画像をClassroomに保存して、両者を比較したり、他者の作品を見たりしながら「ルーブリック評価」を含めた鑑賞を行う。

20分間の鑑賞と振り返りの後に、龍門石窟に刻まれた本日の手本「牛欄造像記(ぎゅうけつぞうぎ)」を提示し、個人やクラス全体で特徴を確認した後、臨書を行った。生徒は古典の特徴を再現しようと、真剣に取り組むことができた。



【「最初の作品」と「清書」をChromebookに保存】



【ルーブリックを活用した振り返りシートで“鑑賞”】

〈授業担当教員の感想〉

- ◎Chromebookに作品を撮影して保存することで、他のクラスも含めてたくさんの作品を鑑賞できる。
- ◎作品をクラウド上に蓄積できるので、学期のまとめとして深い鑑賞ができる。
- △当初はJamboardで鑑賞したことを共有したり、スプレッドシートに感想を書かせたりしたが、「書く時間」が足りないことが課題である。

参考となるHP等